

～～第8847・8848回～～

スノーシュー（上高地）

～R2. 2. 15-16～

静岡北支部と磐田支部合同の行事。磐田支部メンバーはJRで静岡駅へ。静岡駅前からマイクロバスに乗り合わせて出発する。今日は、松本で昼食後宿に向かうだけで時間に余裕がある。時間がたっぷりあるときの歩きは何とでもなるが・・・と、急遽立ち寄り先を決める。向かった先は「まつもと城下町湧水群女鳥羽(めとば)の泉」。この湧き水は環境省認定「平成の名水百選」の一つ。すぐそばにある酒蔵をまず見学し、醸造している清酒を試飲する。様々なお酒を気前よくふるまってくれて、一同大満足となる。もちろんお土産の酒をたくさん購入して持ち帰ったことは言うまでもない。食前酒で気持ちよくなって向かったのが、サラダ街道沿いに入口がある唐沢そば集落。美味しい蕎麦を食べてから、今日の宿“ペンションしるふれい”へ。温泉入浴後、レンタルのスノーシューを各自の靴に合わせて明日への準備をする。その後は両支部メンバーが入り混じって親睦を深める。

翌日は朝から雨。朝食後、マイクロバスで釜トンネルまで送ってもらう。トンネル内はいつもより明かりが少なく暗い。例年ならトンネル内に凍結している部分があるが、トンネル入り口気温約4℃と高く凍結部分はない。二つ目の上高地トンネル出口でスノーシューを装着する。いよいよスノーシューによる歩きとなる。そこから大正池ホテルまでの道路歩きは路面むき出しの部分もあり、雪解け水が道路上を流れている。初スノーシューのメンバーには歩きがぎこちない人もいて四苦八苦している。大正池ホテル横からは散策路に入って行く。ここからは確実に雪原の上を歩くことができる。ただし自然保護の観点から散策路にはロープが張られていて歩くコースは決められている。雨も比較的小降り、焼岳の山並みや梓川上流付近には岳沢の下の部分も望むことができる。田代池を通過し田代橋へ到着。例年であればここから梓川右岸へ進み上流の河童橋を目指すところだが、天候も悪く予定時間より遅くなっていたので左岸をそのまま進むことにした。ここからは雪原をどこでも自由に歩くことができ、スノーシューを満喫した。上高地バスターミナルで昼食にする。雨で入山者が少ないのか、貸し切り状態で休むことができた。寒暖計の表示は約6℃、例年より10度以上は高い。昼食を食べる手先が凍えないのには助かった。帰りは道路上歩き。やや下りの踏み固められた雪道、スノーシュー歩きにも慣れてきて足取りが早くなる。上高地トンネル入り口でスノーシューを外す。トンネル内は足取りもさらに早くなり釜トンネル入り口で待っていたマイクロバスに乗り込む。宿の温泉で温まり、静岡へ向かう。静岡駅には20:00過ぎに到着。磐田支部メンバーはさらにそこからJR乗車して帰宅した。

参加者：17名（静岡北10、磐田7）

天気：①快晴 ②雨

地図：上高地

コースタイム：釜トンネル 900…上高地トンネル出口 935-…大正池 1020…田代池 1100  
…田代橋 1130…上高地バスターミナル 1230-1300…上高地トンネル 1430…釜トンネル  
入り口 1510

記録：静岡北支部 MK

